

## 令和 5 年マイスター・ハイスクール事業 定量的目標の評価結果

### 1 全校生徒集計結果

項 目	目標値	肯定的評価をした生徒の割合			集計方法
		年度始	年度末	増減	
ア 地域に魅力を感じ、愛着を持った生徒の割合	在籍者の80%以上	68.5%	75.0%	6.5pt	生徒アンケート
イ 地域の課題を発見し、解決に向けて多面的・論理的に考え、行動できた生徒の割合	在籍者の80%以上	53.2%	71.7%	18.5pt	
ウ 将来、地域のために貢献したいと考え、行動できた生徒の割合	在籍者の80%以上	41.9%	54.4%	12.5pt	
エ 様々な産業人との交流を通し、自身の進路について考えることができた生徒の割合	在籍者の80%以上	54.3%	78.2%	23.9pt	
オ 自身が目指す進路に関連した資格取得を積極的に行えた生徒の割合	在籍者の80%以上	78.8%	91.8%	13.0pt	
カ ITやICT, IoTの役割を理解し、活用することができる生徒の割合	在籍者の80%以上	77.9%	87.8%	9.9pt	
キ 卒業後、即就農及び地域の主要産業への就職者の割合	卒業生の50%以上	55.3% (事業前3年間)	69.2% (R5卒業生)	13.9pt	進路実績
ク 卒業後、就農及び地域の技術者を目的とした進学者の割合	卒業生の40%以上	18.4% (事業前3年間)	42.9% (R5卒業生)	24.5pt	
ケ 英語で日常的なコミュニケーションができるようになった人の割合	卒業生の30%以上	35.7%	62.7%	27.0pt	生徒アンケート
コ 在学中に海外の人と交流した人数	卒業生の50%以上	75.3%	83.5%	8.2pt	
サ 将来的な新規参入を目指して進学または雇用就農した人数	3人以上 (3年間累計)	0人 (令和3年度まで)	5人 (令和4~5年度)	5人	進路実績 R4:2名、R5:3名

### 2 令和3年度入学生(現在の3年生)の評価結果

項 目	目標値	肯定的評価をした生徒の割合			集計方法
		R3年度始	R5年度末	増減	
ア 地域に魅力を感じ、愛着を持った生徒の割合	在籍者の80%以上	71.1%	80.3%	9.2pt	生徒アンケート
イ 地域の課題を発見し、解決に向けて多面的・論理的に考え、行動できた生徒の割合	在籍者の80%以上	37.8%	86.3%	48.5pt	
ウ 将来、地域のために貢献したいと考え、行動できた生徒の割合	在籍者の80%以上	23.4%	57.5%	34.1pt	
エ 様々な産業人との交流を通し、自身の進路について考えることができた生徒の割合	在籍者の80%以上	21.9%	90.0%	68.1pt	
オ 自身が目指す進路に関連した資格取得を積極的に行えた生徒の割合	在籍者の80%以上	72.6%	94.2%	21.6pt	
カ ITやICT, IoTの役割を理解し、活用することができる生徒の割合	在籍者の80%以上	69.4%	94.4%	25.0pt	
ケ 英語教育		44.7%	63.8%	19.1pt	

### 3 令和4年度入学生(現在の2年生)の評価結果

項 目	目標値	肯定的評価をした生徒の割合			集計方法
		R4年度始	R5年度末	増減	
ア 地域に魅力を感じ、愛着を持った生徒の割合	在籍者の80%以上	63.2%	76.3%	13.1pt	生徒アンケート
イ 地域の課題を発見し、解決に向けて多面的・論理的に考え、行動できた生徒の割合	在籍者の80%以上	44.3%	74.6%	30.2pt	
ウ 将来、地域のために貢献したいと考え、行動できた生徒の割合	在籍者の80%以上	40.6%	63.6%	23.0pt	
エ 様々な産業人との交流を通し、自身の進路について考えることができた生徒の割合	在籍者の80%以上	47.5%	89.1%	41.6pt	
オ 自身が目指す進路に関連した資格取得を積極的に行えた生徒の割合	在籍者の80%以上	79.2%	94.2%	15.0pt	
カ ITやICT, IoTの役割を理解し、活用することができる生徒の割合	在籍者の80%以上	67.0%	90.4%	23.4pt	
ケ 英語教育		49.6%	71.1%	21.5pt	